



新成人おめでとう！

1月12日(日)松本市の成人式が行われました。今年、第三地区で成人された方々の中から、3名の方に心境や抱負をお聞きしました。

＊奥原 洋輔 (四ツ谷東)

成人式を迎え節目となる20歳を迎えることができたのは、家族そして地域の方々の支えあってこそものだと感じております。

生活の中で自由が増えるということは、自分自身の行動に責任をもつ必要があると考えています。ルールを正しく守り、人に迷惑をかけないような生活を送っていききたいです。

私は高校卒業後に県内の製造業に就職しました。世界の経済状況に敏感に左右される業界です。自分で自身をしつかりと持ち仕事に励んでいきたいです。

冒頭でも述べましたが、日頃支えてくださる皆様には心から感謝しております。その御恩をよりよい形で返していけるよう精進しますので、今後ともよろ

＊宮崎 瑛太 (四ツ谷町)

二十歳と十九歳の違いはわずか一年ですが、大人と子どもの違いはとて大きいです。自分が大人になったとはまだまだ思えませんが、大人として扱われる歳になりました。それは嬉しいことでもあり、責任を感じています。

さらに私は、去年から一人暮らしを始めました。すると今まで、自分は両親など大人に助けられ、支えられていたことを強く実感しました。これからは私も大人の一人として、誰かの支えになりたいです。今は大学で芸術を学んでいます。自分でも創作をするので、自分の作品が誰かの力になるように頑張りたいです。

＊石井 里奈 (埋橋)

私は今、親元を離れ、長い間憧れていた大学で勉強しています。初めは不安もありましたが、毎日が学びと発見の連続でした。密度の濃い時間を過ごすことができ、人生の宝となるような経験を数多くさせてもらったと感じています。

そんな今、二十歳になり思うことは「多くの人の人生を輝かせられるような生き方をしたい」ということです。私利私欲のための成功を求めるのではなく、振り返った時、真に誇りに思える人生を歩むこと。私の一番の目標であり、夢でもあります。

今までお世話になった全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、精進していききたいと思



そっと寄り添う気持ちで

民生・児童委員協議会会長 白井裕子

日頃は民生委員・児童委員活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。5名の新任委員と共に、地域の皆様と連携し住みやすい地域づくりのために活動を進めてまいります。

私たちは民生・児童委員は、地域住民の立場で赤ちゃんから高齢者までの生活の中での困り事の相談、支援をするボランティアです。子育て、健康、介護等での心配な事や不安な事にそっと寄り添い、関係機

関へのつなぎ役になれるよう研鑽を積んでまいります。まずは、地域の皆様に顔を覚えて頂き、気軽に話せる間柄になれたらと思っております。「いきいき100歳体操」やサロン等の地域行事でお会いしましたら、お声がけください。

また、毎月福祉ひろばと共催で、子育て支援事業「おひさまキッズ」を行っています。「こんにちは赤ちゃん」で訪問した赤ちゃんの健やかな成長を一緒に見守ってまいります。

昨年12月に改選された第三地区の新しい民生・児童委員の皆さんです

- | | |
|--------|----------------|
| 会長 | 白井裕子 (西埋橋) |
| 副会長 | 丸山妙子 (若松町) |
| 副会長 | 伊久留静代 (県町北) |
| | 原田慶子 (埋橋) |
| | 鳥山洋子 (県町南) |
| | 松林廣子 (四ツ谷町) |
| | ○ 曾井信子 (四ツ谷東) |
| | ○ 千野淳子 (四ツ谷東) |
| | ○ 西原政子 (金山町) |
| | ○ 三澤知亜紀 (日ノ出町) |
| | ○ 中澤住子 (東源池) |
| | ○ 白澤明志 (幸町) |
| | ○ 溝口清志 (東長沢町) |
| 主任児童委員 | ○ 花岡由美子 |

※○は新任の方です

第三地区福祉ひろば開設20周年・第三地区公民館開設10周年記念式典



講演の様子

第三地区福祉ひろばと公民館の開設記念式典が11月16日(土)に勤労者福祉センターで開催されました。
長年、第三地区福祉ひろば及び地区公民館の運営にご尽力いただいた方への感謝状の贈呈や、松本市文書館の小松芳郎先生による記念講演「第三地区の歴史」があり、盛大な祝賀会となりました。なお、各家庭に記念のタオルが配布されました。

まゆ玉づくり講習会

12月15日(日)トライあひ。松本にて、第三地区まちづくり協議会主催「三九郎のまゆ玉づくり講習会」が開かれました。参加者は小学生とその親で、和気あいあいとした会になりました。

まず初めに「三九郎について知ってみよう」と題して、意味や由来について教えていただきました。続いて、四ツ谷町の飯田裕康さんから昔の三九郎行事の様子をお

話いただきました。

三九郎の意味や昔の様子をお聞きしたところで、いよいよまゆ玉づくりに挑戦しました。米粉をこねたり蒸したり色を付けて、「小判・しずく・野菜・動物」などの楽しい形のまゆ玉がたくさん出来上がりました。

今回、初めてまゆ玉を作ったという方も多い中「意外と簡単にできた」「子供だけでなく親も夢中になれて楽しかった」などの感想をいただきました。ぜひ、本番の三九郎でも色とりどりの楽しい

第1回第三地区ふれあい卓球教室開催される!

第三地区体育協合理事長 高木 肇男

令和元年11月17日(日)午後1時より清水中学校柔剣道場において、第三地区体育協会と卓球クラブの共催で「第1回ふれあい卓球教室」が開催されました。当日は初の企画にもかかわらず、15名の地区町会の皆様に参加していただきました。

卓球クラブの指導の下、慣れなオレレンジ色のラージボール(44ミリ球)に苦戦しながらも、最後は実際にゲームを行い、2時間という短い時間でしたが、競技を楽しむ



まゆ玉を柳に飾って、一年間の無病息災・五穀豊穡を願いたいと思います。
(文責・谷口 陽子)



ことができました。

来年度以降も地区のスポーツ行事として継続できればと考えておりますのでご協力の程よろしくお願ひします。なお、当日指導していただいた地区卓球クラブの皆様にご挨拶申し上げます。

第三地区卓球クラブは第三地区公民館の視聴覚室で毎週木曜日の夜間7時30分から9時15分まで活動しています。卓球に興味のある方は第三地区公民館(TEL 36-7040)までお問い合わせください。

湧き水

「令和」がスタートして九月経過、何の違和感も無く日常生活に溶け込んでおり、改めてこの年号の品格と重みを歓迎しています。特に私は三つの意味で気に入っています。

◆西暦との関わり

令和を数字にあてはめると018となります。この下二ケタと西暦の下二ケタが良い関係にあります。今年の東京オリンピックを例にとると、2020年の下二ケタが20となり、20から18を引くと2が残ります。よって令和に直すと令和2年になります。平成時、〇〇〇〇年は平成何年だったつけというような悩みが簡単に計算できます。

◆思いやり

「令」は命令の令、「和」は和やかな思いやりの心を感じさせます。色々な面で判断を下す必要が生じた時、相手を和やかにして理解していただける話し方が必要です。

◆お礼

令和を別の文字に置き換えると「礼は？」ともなります。タイミンク良く感謝の気持ちを伝える大切さを教えてくれます。
(上條 恒嗣)